# 2026 年度第２回 子ども・子育て会議 次第

日時 2026 年 10 月 15 日(木)
午前 10 時 00 分～
会場 新館１階 会議室４、５

1. あいさつ

2. 会議の公開について

3. 議題

協議事項

| | |
|---|---|
| (1)こども計画意見聴取結果について | 資料１ |
| (2)こども計画骨子(案)について | 資料２ |
| (3)子ども・子育て支援事業計画の変更について | 資料３ |

4. その他



豊明市こどもまんなかPRキャラクター
豊明高校イラストレーション部作成

# 子ども・子育て会議　委員名簿

| | 委員名 | 所属 | 任命理由 |
|---|---|---|---|
| 1 | 鈴木　裕子 | 名古屋柳城短期大学　学長 | 学識経験者 |
| 2 | 漢人　直之 | 東名古屋豊明市医師会代表 | 保健又は福祉関係者 |
| 3 | 上野　郁子 | 豊明市民生児童委員協議会<br>児童福祉部会代表 | 福祉団体の代表者 |
| 4 | 小野寺　良夫 | 豊明市社会福祉協議会事務局次長 | 福祉団体の代表者 |
| 5 | 渡邉　英樹 | 豊明市教育委員会学校支援室長補佐 | 教育関係者 |
| 6 | 稲吉　隆文 | 愛知県中央児童・障害者相談センター | 保健又は福祉関係者 |
| 7 | 峯村　奈穂 | 愛知県瀬戸保健所　健康推進課 | 保健又は福祉関係者 |
| 8 | 安藤　晴代 | 暁幼稚園　教頭 | 保育関係者 |
| 9 | 石原　正枝 | 豊明なかよし保育園　園長 | 保育関係者 |
| 10 | 岡　裕香 | ママコアラ代表 | 保育関係者 |
| 11 | 笠原　尚志 | 豊明市商工会 | 商工関係者 |
| 12 | 山下　直樹 | 名古屋短期大学保育科教授 | 学識経験者 |
| 13 | 伏屋　一幸 | 国際交流協会 | その他市長が必要と認める者 |
| 14 | 梅原　尚子 | 重層支援センター | その他市長が必要と認める者 |
| 15 | 朝比奈　海 | 市民公募 | その他市長が必要と認める者 |
| 16 | 岩月　了菜 | 市民公募 | その他市長が必要と認める者 |

委員任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日（2年間）

資料１

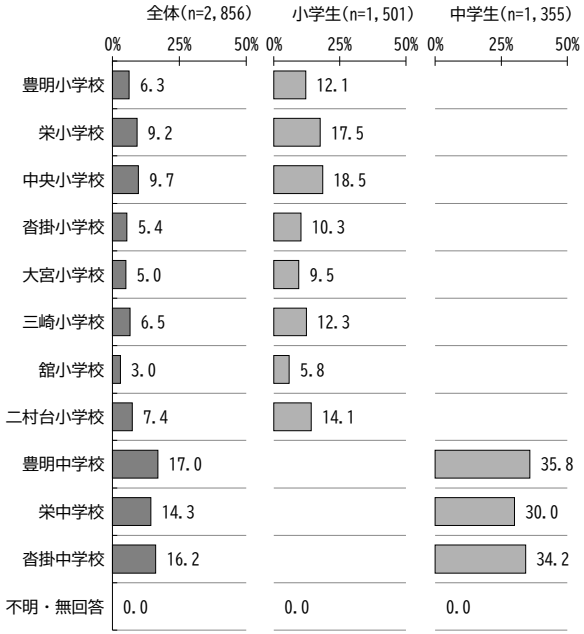
# こども計画意見聴取結果について

## 1. 結果の概要

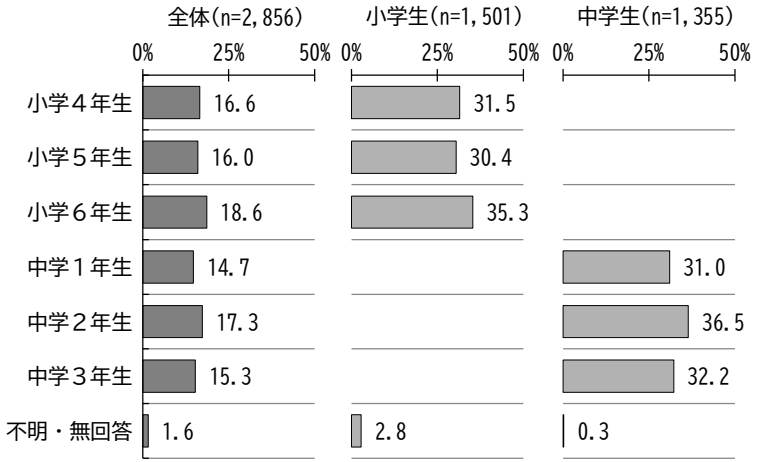
| 区分 | | 内容 | 結果 |
|---|---|---|---|
| (1)<br>P2 | こども<br>アンケート調査 | 対　　象：市内の小学４年生～中学３年生<br>配 布 数：小学生 1,717 件、中学生 1,698 件<br>期　　間：2026 年６月９日～６月３０日<br>実施方法：学校を通じたＷＥＢアンケート | 回収件数：小学生 1,501 件、中学生 1,355 件<br>回 収 率：小学生　87.4%、中学生　79.8% |
| (2)<br>P8 | こども･若者<br>アンケート調査 | 対　　象：15 歳～39 歳の市民<br>配 布 数：2,000 件<br>期　　間：2026 年７月７日～７月２１日<br>実施方法：郵送配布・回収及びＷＥＢ回答 | 回収件数：494 件<br>回 収 率：24.7% |
| (3)<br>P14 | 意見聴取パネル<br>設置 | 対　　象：設置場所利用者<br>設置場所：図書館、児童館、豊明市共生交流プラザ「カラット」など<br>期　　間：2026 年５月～６月<br>実施方法：パネルとシールを設置し、期間中自由に参加いただく。 | 参加者数：大人 186 件、こども 617 件（延べ） |
| (4)<br>P15 | こども×大人<br>ワークショップ | 対　　象：市内の小中学生・大学生（通学者）、保護者及びこどもと関わる仕事をしている人<br>期　　間：2026 年７月 25 日　9：30～12：00<br>実施方法：ふせんや模造紙などを用いた対面型のワークショップ | 参加者数：小学生５人、中学生６人<br>大人７人<br>大学生ボランティア５人 |
| (5)<br>P16 | 支援者アンケート<br>及びグループインタビュー | 対　　象：市内でこどもと関わる仕事をしている人・団体・機関<br>配 布 数：75 団体<br>期　　間：2026 年６月２２日～７月１０日<br>実施方法：シート調査後に、希望者はグループインタビューを実施。 | アンケート回収件数：39 件<br>回 収 率：52.0%<br>グループインタビュー参加者：９人 |
| (6)<br>P20 | 支援が必要なこどもへのアンケート及びヒアリング | 対　　象：①特別支援学校に通うこども及び保護者（アンケート）<br>②不登校支援事業に参加しているこども（アンケート）<br>③外国籍のこども（ヒアリング）（アンケート）<br>期　　間：2026 年８月～９月 | 回収件数：①６件、②６件<br>③ヒアリング 21 人、アンケート４件 |

## (1)こどもアンケート結果

### 問１．学校名をおしえてください。（単数回答）



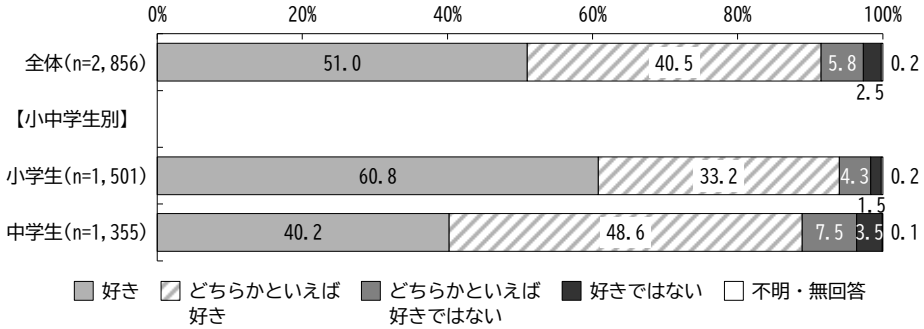

### 問２．学年をおしえてください。（単数回答）




### 問４．豊明市のことが好きですか。（単数回答）

全体で『好き』（「好き」と「どちらかといえば好き」の合算）が 91.5%、『好きではない』（「どちらかといえば好きではない」と「好きではない」の合算）が 8.3%となっています。

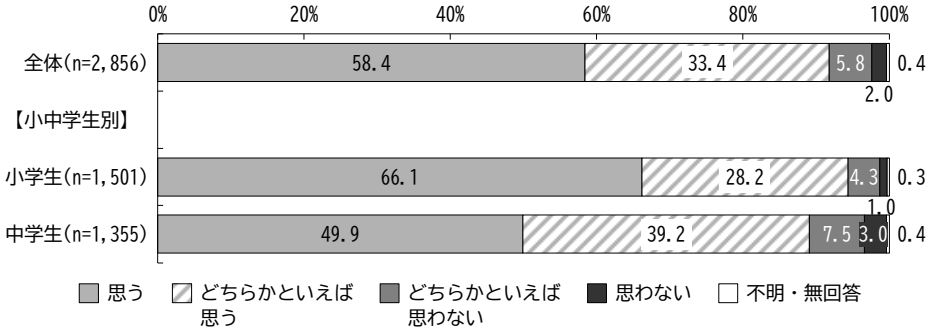
小中学生別では、『好き』が小学生で 94.0%、中学生で 88.8%となっています。



問６．豊明市は住みやすいまちだと思いますか。（単数回答）

全体で『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合算）が 91.8%、『思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合算）が 7.8%となっています。

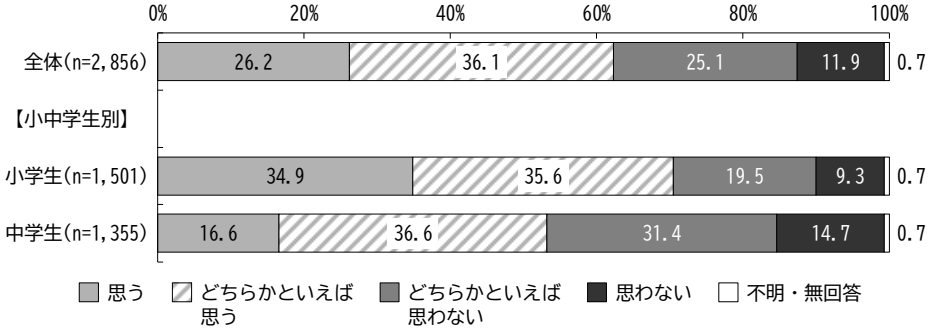
小中学生別では、『思う』が小学生で 94.3%、中学生で 89.1%となっています。




問７．大人になっても豊明市に住みたいと思いますか。（単数回答）

全体で『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合算）が 62.3%、『思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合算）が 37.0%となっています。

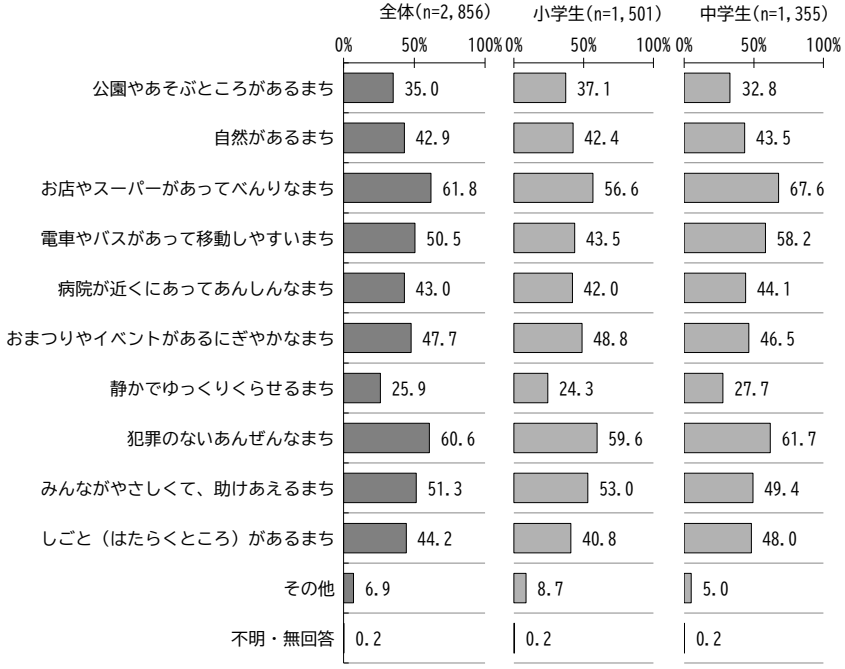
小中学生別では、『思う』が小学生で 70.5%、中学生で 53.2%と、中学生で 17.3 ポイント低くなっています。




問８．大人になったら、どんなまちに住みたいですか。（複数回答）

全体で「お店やスーパーがあってべんりなまち」が 61.8%と最も高く、次いで「犯罪のないあんぜんなまち」が 60.6%となっています。

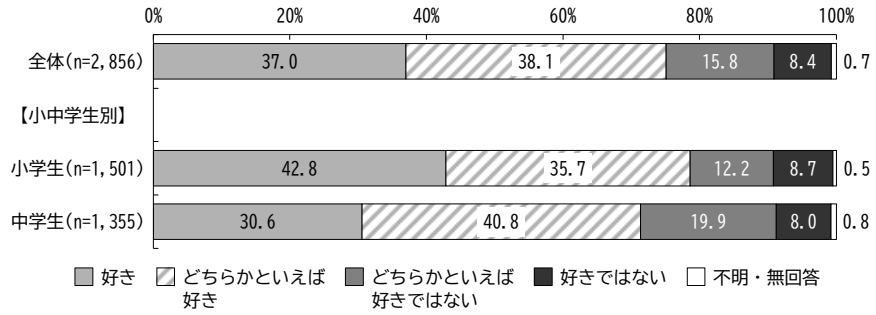
小中学生別では、いずれも「犯罪のないあんぜんなまち」「お店やスーパーがあってべんりなまち」が上位となっており、それぞれ６割前後となっています。なお、中学生は小学生と比べて「電車やバスがあって移動しやすいまち」「お店やスーパーがあってべんりなまち」がそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。



問９．自分のことが好きですか。（単数回答）

全体で『好き』（「好き」と「どちらかといえば好き」の合算）が75.1%、『好きではない』（「どちらかといえば好きではない」と「好きではない」の合算）が24.2%となっています。

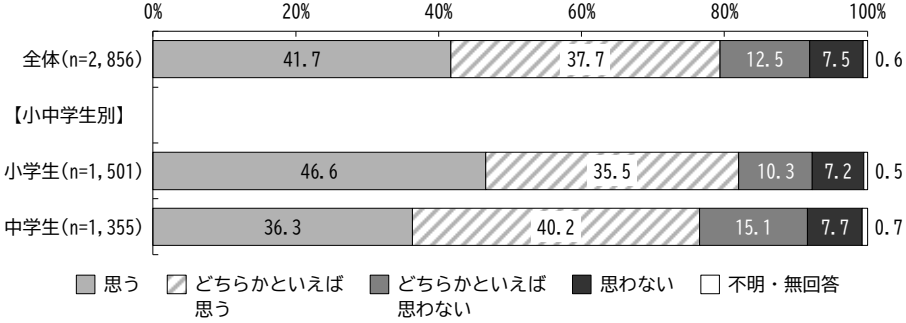
小中学生別では、『好き』が小学生で78.5%、中学生で71.4%となっています。




問10．自分には、よいところがあると思いますか。（単数回答）

全体で『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合算）が79.4%、『思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合算）が20.0%となっています。

小中学生別では、『思う』が小学生で82.1%、中学生で76.5%となっています。

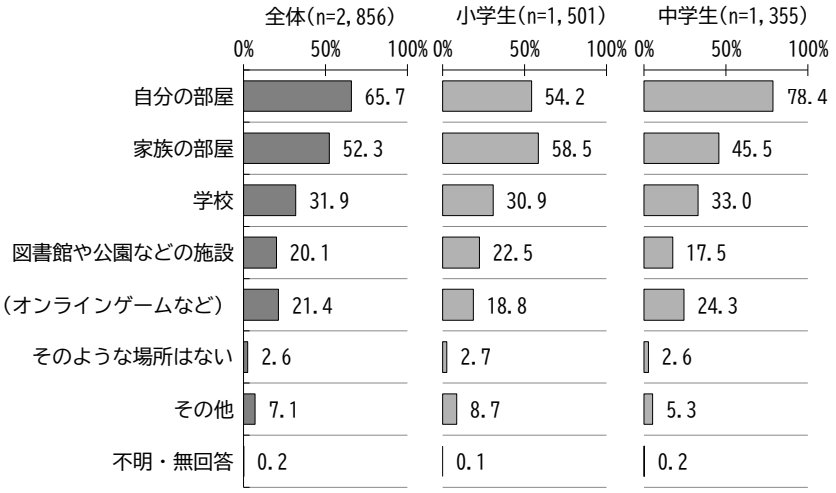



問13．今のあなたにとって、安心できる居場所はどこですか。（複数回答）

全体で「自分の部屋」が65.7%と最も高く、次いで「家族の部屋」が52.3%となっています。なお、「そのような場所はない」が2.6%と一定数みられます。

小中学生別では、いずれも「自分の部屋」「家族の部屋」が上位となっています。なお、中学生は小学生と比べて「自分の部屋」が24.2ポイント、「家族の部屋」が13.0ポイント、それぞれ高くなっています。

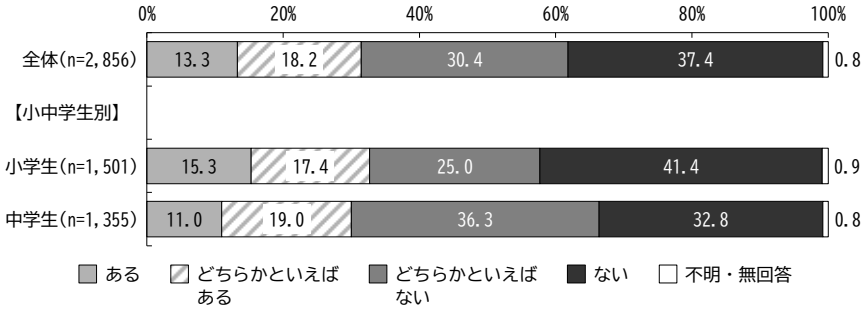
「そのような場所はない」は小学生で2.7%、中学生で2.6%となっています。



問 14. 自分はひとりぼっちだと感じることはありますか。（単数回答）

全体で『ある』（「ある」と「どちらかといえばある」の合算）が 31.5%、『ない』（「どちらかといえばない」と「ない」の合算）が 67.8%となっています。

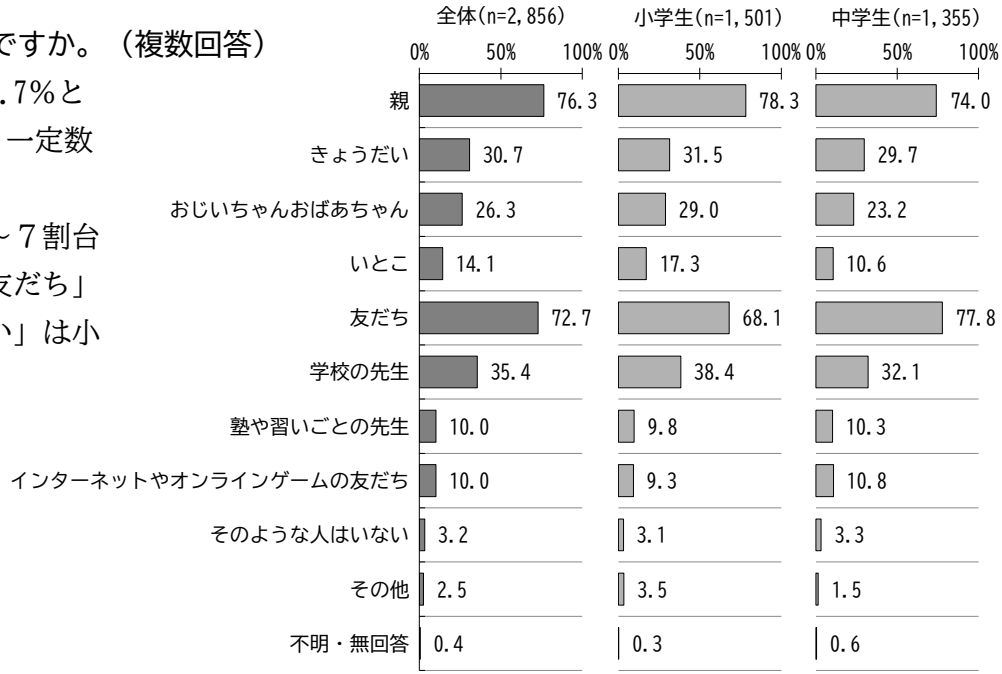
小中学生別では、『ある』が小学生で 32.7%、中学生で 30.0%となっています。




問 16. あなたにとって、困っているときに助けてくれる人はだれですか。（複数回答）

全体で「親」が 76.3%と最も高く、次いで「友だち」が 72.7%となっています。なお、「そのような人はいない」が 3.2%と一定数みられます。

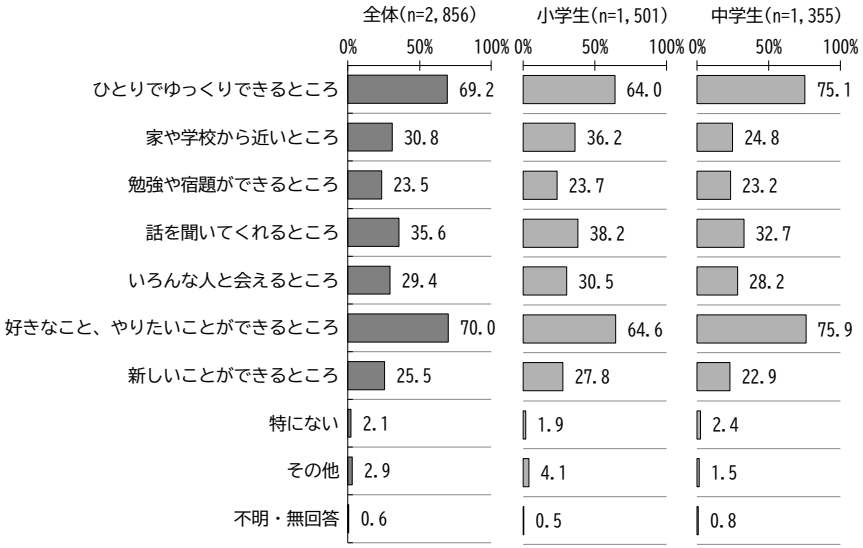
小中学生別では、いずれも「親」「友だち」がそれぞれ６～７割台で上位となっています。なお、中学生は小学生と比べて「友だち」が 9.7 ポイント高くなっています。「そのような人はいない」は小学生で 3.1%、中学生で 3.3%となっています。



問 17. どのような居場所があると安心できますか。（複数回答）

全体で「好きなこと、やりたいことができるところ」が 70.0%と最も高く、次いで「ひとりでゆっくりできるところ」が 69.2%となっています。

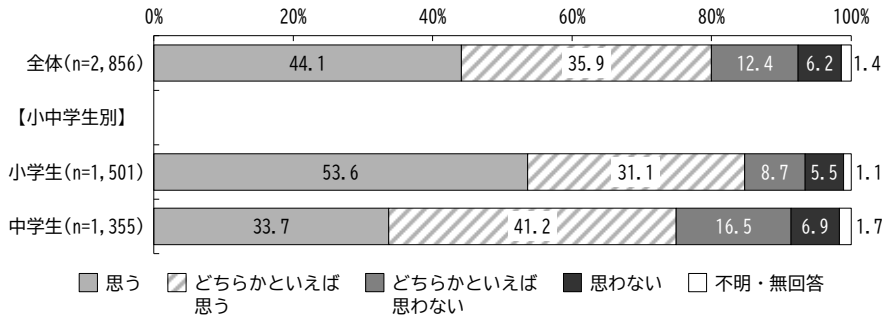
小中学生別では、いずれも「好きなこと、やりたいことができるところ」「ひとりでゆっくりできるところ」がそれぞれ６～７割台で上位となっています。なお、小学生は中学生と比べて「家や学校から近いところ」が 11.4 ポイント高く、中学生は小学生と比べて「好きなこと、やりたいことができるところ」「ひとりでゆっくりできるところ」がそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。




問 18. 自分の将来が楽しみだと思いますか。（単数回答）

全体で『思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合算）が 80.0%、『思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合算）が 18.6%となっています。

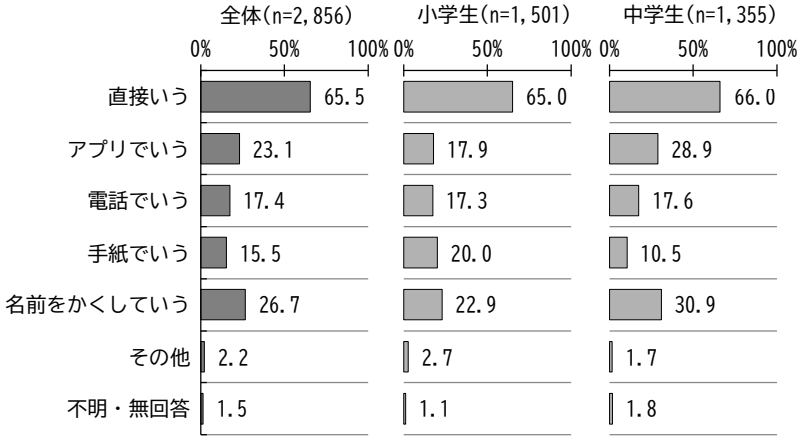
小中学生別では、『思う』が小学生で 84.7%、中学生で 74.9%となっています。




問 20. どのような方法ならば、意見や気持ちをいいやすいですか。（複数回答）

全体で「直接いう」が 65.5%と最も高く、次いで「名前をかくしていう」が 26.7%となっています。

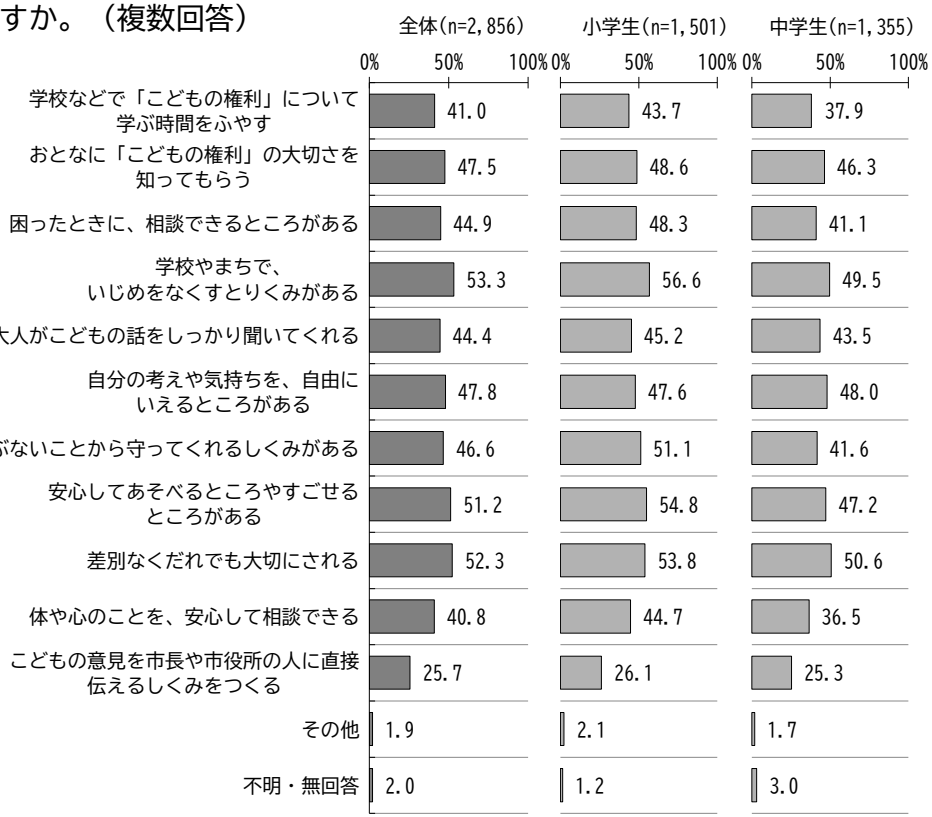
小中学生別では、いずれも「直接いう」「名前をかくしていう」がそれぞれ上位となっています。なお、中学生は小学生と比べて「アプリでいう」が 11.0 ポイント高くなっています。



問 25. こどもの権利を守るために、どのようなしくみがあったらよいですか。（複数回答）

全体で「学校やまちで、いじめをなくすとりくみがある」が 53.3%と最も高く、次いで「差別なくだれでも大切にされる」が 52.3%となっています。このほか、10 項目でそれぞれ４割を超えています。

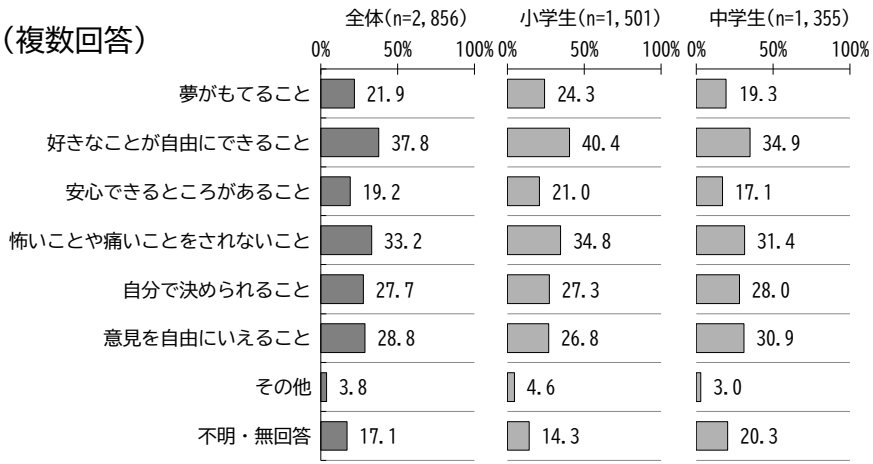
小中学生別では、小学生で「学校やまちで、いじめをなくすとりくみがある」が、中学生で「差別なくだれでも大切にされる」が、それぞれ最も高くなっています。なお、小学生は中学生と比べて「あぶないことから守ってくれるしくみがある」が、9.5 ポイント高くなっています。




問 26. こどもの権利のなかで、守られていないと思う権利はどれですか。（複数回答）

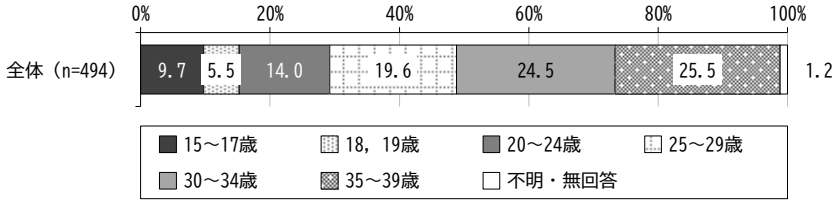
全体で「好きなことが自由にできること」が 37.8%と最も高く、次いで「怖いことや痛いことをされないこと」が 33.2%となっています。

小中学生別では、いずれも「好きなことが自由にできること」「怖いことや痛いことをされないこと」がそれぞれ上位となっています。

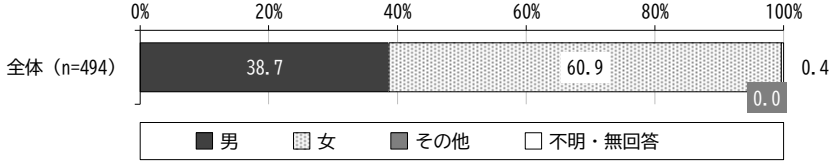


## (2)こども・若者アンケート調査結果

問１．あなたの年齢をお答えください。（数量回答）

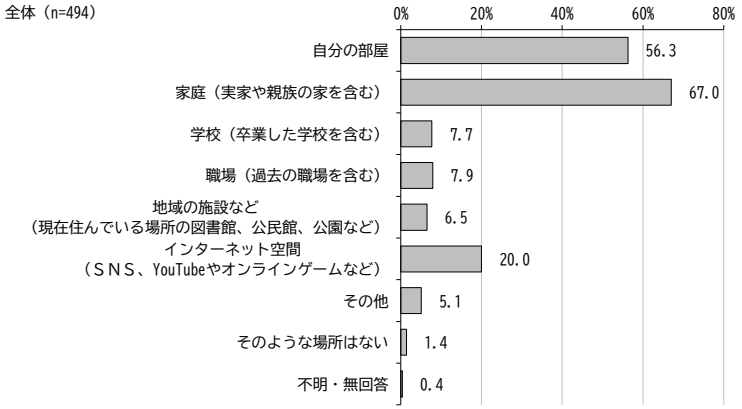



問２．あなたの性別をお答えください。（単数回答）



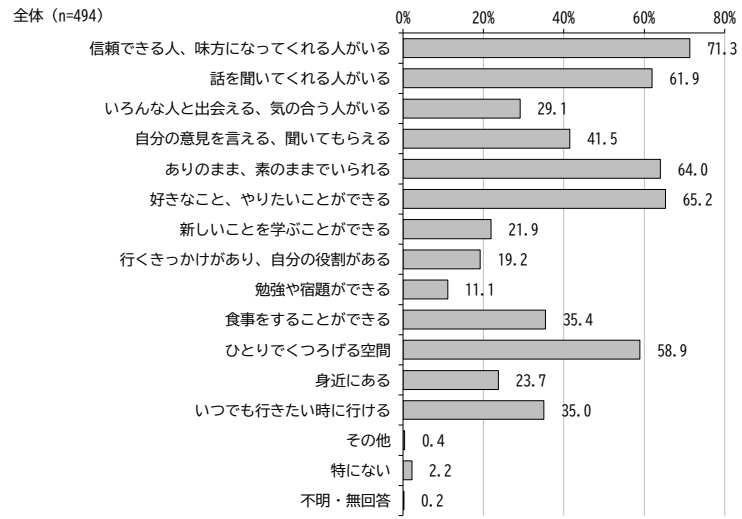

問８．今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所など）になっている場所はどこですか。（複数回答）

「家庭（実家や親族の家を含む）」が 67.0%と最も高く、次いで「自分の部屋」が 56.3%、「インターネット空間（ＳＮＳ、YouTube やオンラインゲームなど）」が 20.0%となっています。



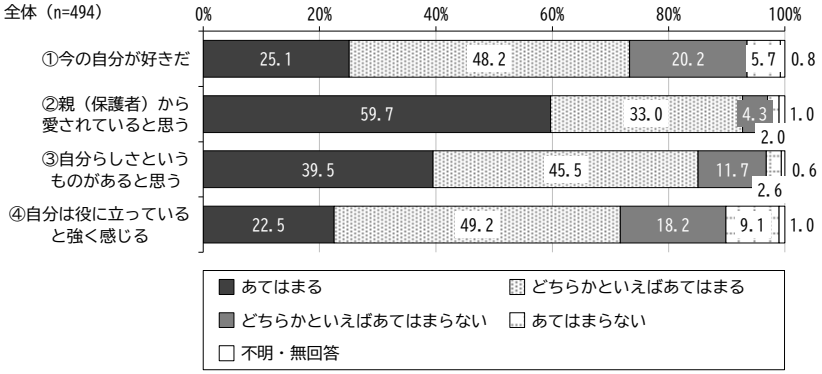

問９．居場所としてどのような場所や環境があるとよいですか。（複数回答）

「信頼できる人、味方になってくれる人がいる」が 71.3%と最も高く、次いで「好きなこと、やりたいことができる」が 65.2%、「ありのまま、素のままでいられる」が 64.0%となっています。



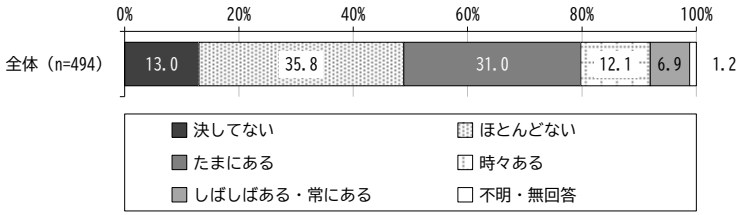
問 12. あなたの気持ちや考えについて、もっとも近いものを選んでください。（単数回答）

すべての項目で『あてはまる』が高くなっています。また、〔②親（保護者）から愛されていると思う〕〔③自分らしさというものがあると思う〕では『あてはまる』が８割以上と他の項目と比べて高くなっています。



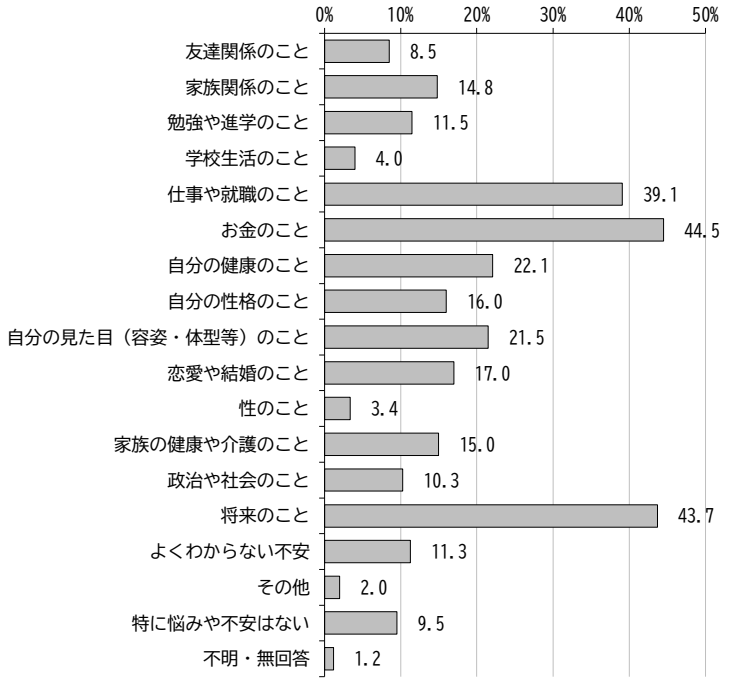

問 14. あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（単数回答）

「ほとんどない」が 35.8%と最も高く、次いで「たまにある」が 31.0%、「決してない」が 13.0%となっています。



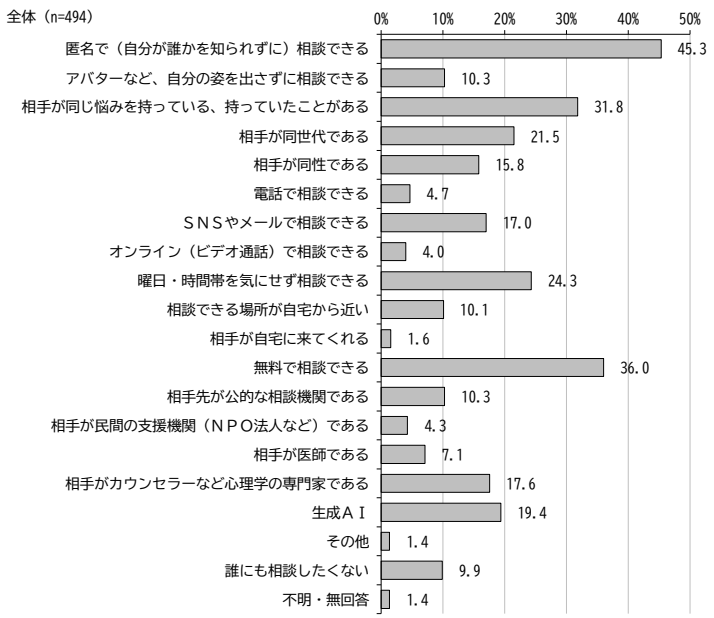

問 15. 現在、悩んでいることはありますか。（複数回答）

「お金のこと」が 44.5%と最も高く、次いで「将来のこと」が 43.7%、「仕事や就職のこと」が 39.1%となっています。



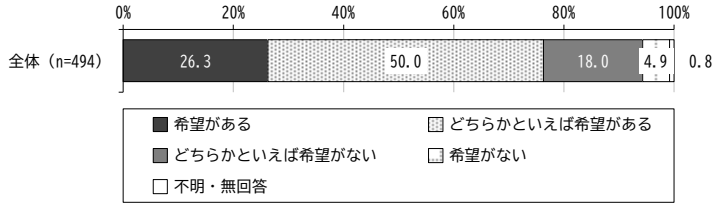
問 17. あなたは、悩みや不安を感じたときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。（複数回答）

「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が 45.3%と最も高く、次いで「無料で相談できる」が 36.0%、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 31.8%となっています。



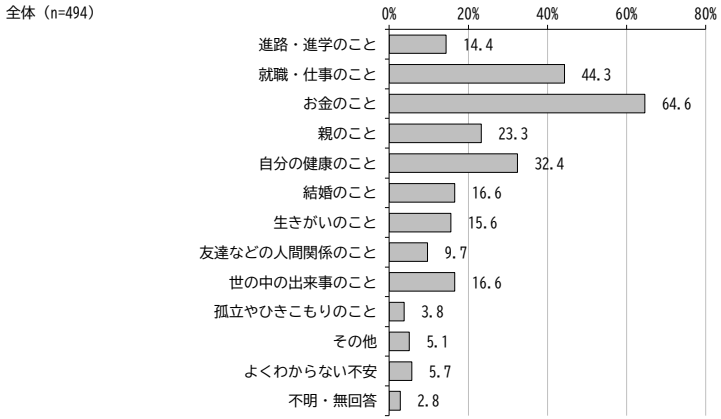

問 18. あなたは、自分の将来について明るい希望をもっていますか。（単数回答）

『希望がある』が 76.3%、『希望がない』が 22.9%となっています。



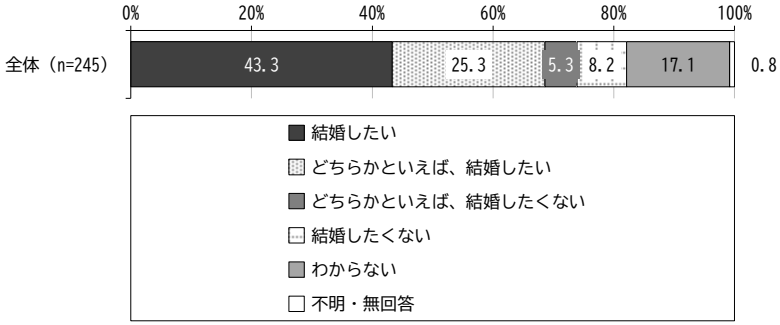

問 19. 将来に対して、特にどのようなことに不安を感じますか。（複数回答）

「お金のこと」が 64.6%と最も高く、次いで「就職・仕事のこと」が 44.3%、「自分の健康のこと」が 32.4%となっています。



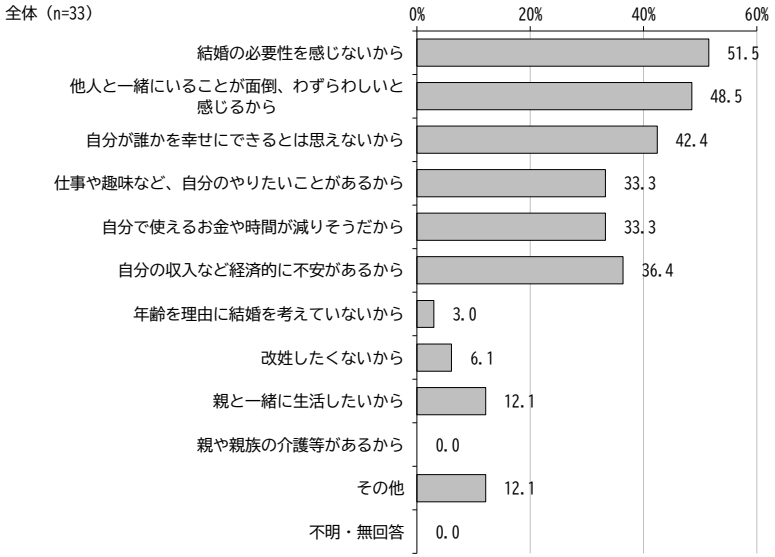
問 21. あなたは将来、結婚したいですか。（単数回答）

『結婚したい』が 68.6%と最も高く、次いで「わからない」が 17.1%、『結婚したくない』が 13.5%となっています。



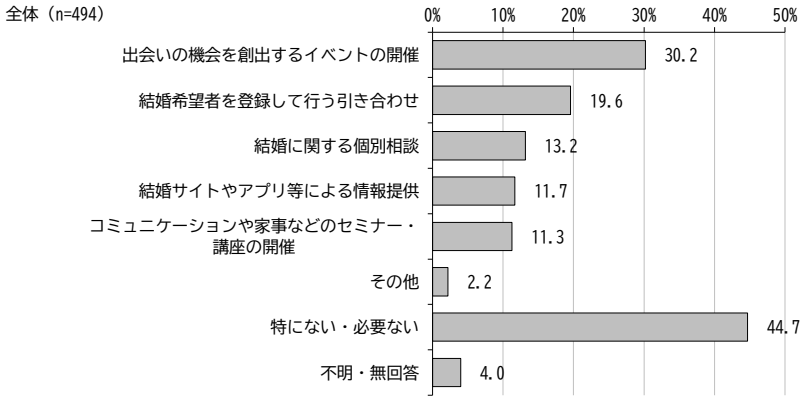

問 21-１.あなたが結婚をしたくない理由は何ですか。（複数回答）

「結婚の必要性を感じないから」が 51.5%と最も高く、次いで「他人と一緒にいることが面倒、わずらわしいと感じるから」が 48.5%、「自分が誰かを幸せにできるとは思えないから」が 42.4%となっています。



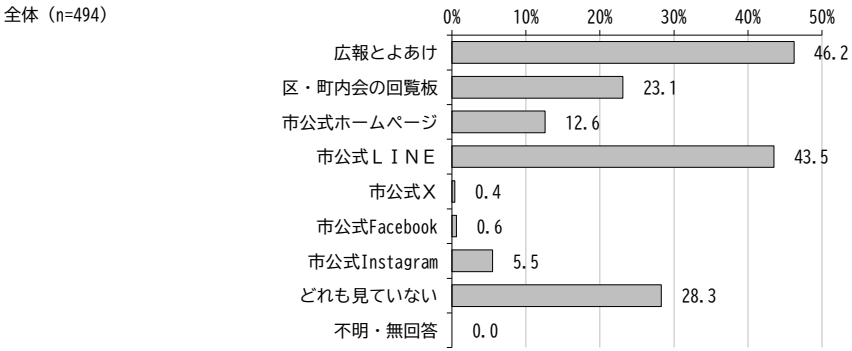

問 22. 行政が結婚支援サービスを実施するとしたら、あなたはどのようなサービスを期待しますか。（複数回答）

「特にない・必要ない」が 44.7%と最も高く、次いで「出会いの機会を創出するイベントの開催」が 30.2%、「結婚希望者を登録して行う引き合わせ」が 19.6%となっています。



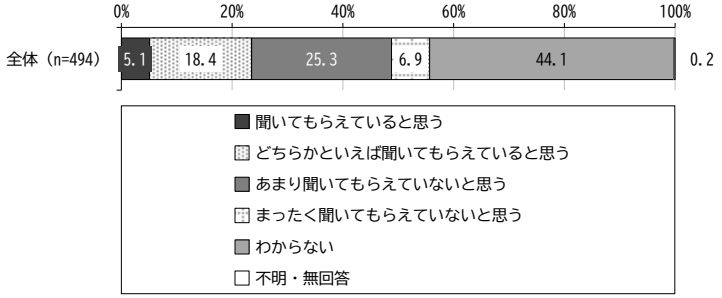
問 24. あなたは、最近３か月程度の間に、豊明市から発信される情報を閲覧しましたか。（複数回答）

「広報とよあけ」が 46.2%と最も高く、次いで「市公式ＬＩＮＥ」が 43.5%、「どれも見ていない」が 28.3%となっています。



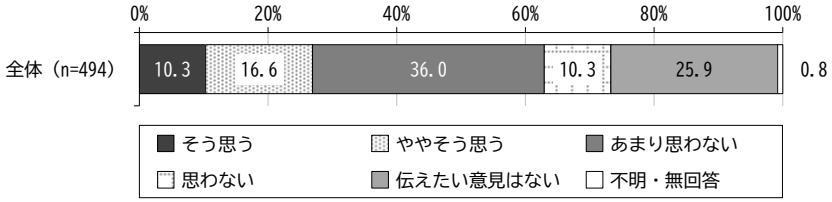

問 28. あなたは、豊明市の取り組みにおいて、こども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。（単数回答）

「わからない」が 44.1%と最も高く、次いで「あまり聞いてもらえていないと思う」が 25.3%、「どちらかといえば聞いてもらえていると思う」が 18.4%となっています。



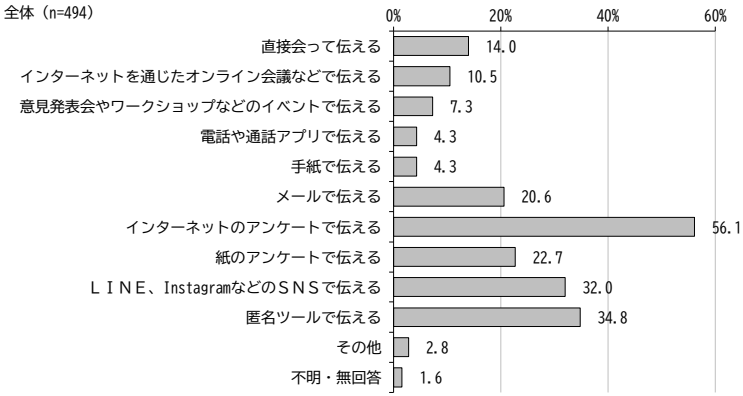

問 29. あなたは、豊明市の取り組みに対して、自分の意見や思いを伝えたいと思いますか。（単数回答）

『思わない』が 46.3%と最も高く、次いで『思う』が 26.9%、「伝えたい意見はない」が 25.9%となっています。



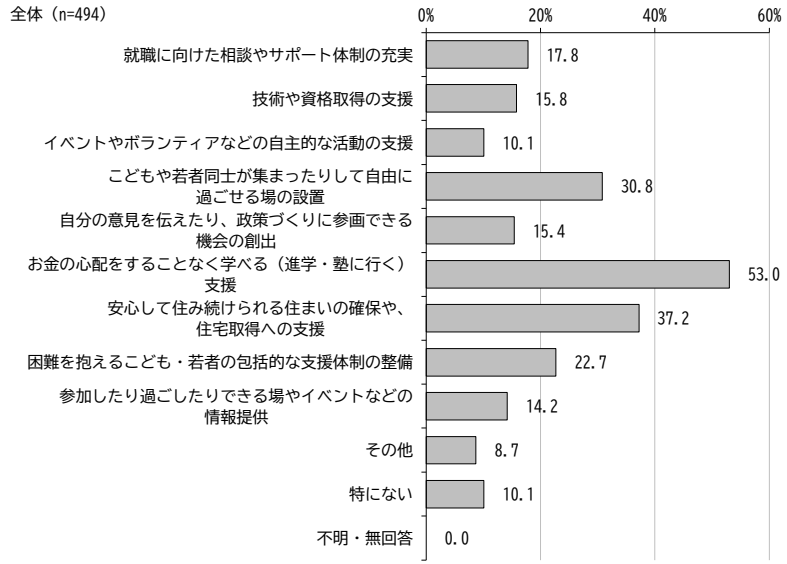

問 31. どのような方法や手段であれば、豊明市に対して自分の意見や思いを伝えやすいと思いますか。（複数回答）

「インターネットのアンケートで伝える」が 56.1%と最も高く、次いで「匿名ツールで伝える」が 34.8%、「ＬＩＮＥ、Instagram などのＳＮＳで伝える」が 32.0%となっています。



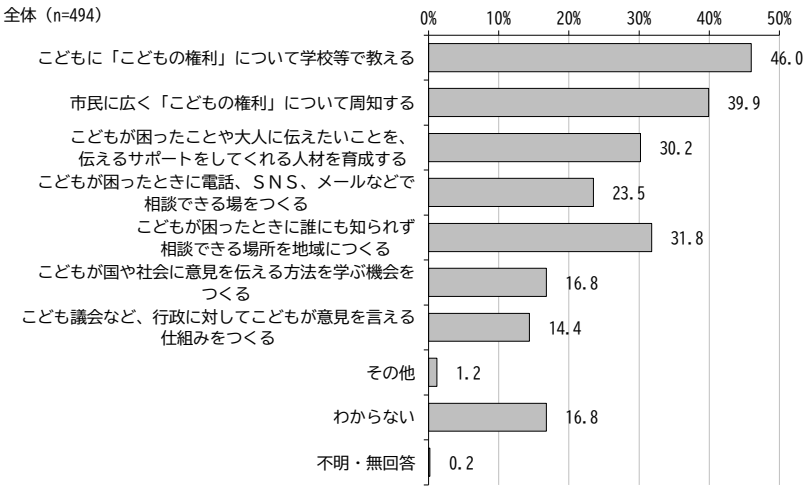
問 34. あなたは、こども・若者のために、これから豊明市に必要な取り組みは何だと思いますか。（複数回答）

「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）支援」が 53.0%と最も高く、次いで「安心して住み続けられる住まいの確保や、住宅取得への支援」が 37.2%、「こどもや若者同士が集まったりして自由に過ごせる場の設置」が 30.8%となっています。



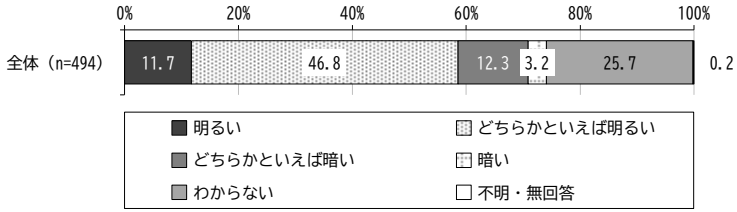

問 37. あなたは、「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあるとよいと思いますか。（複数回答）

「こどもに『こどもの権利』について学校等で教える」が 46.0%と最も高く、次いで「市民に広く『こどもの権利』について周知する」が 39.9%、「こどもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所を地域につくる」が 31.8%となっています。




問 38. あなたは、豊明市の将来は明るいと思いますか。（単数回答）

『明るい』が 58.5%と最も高く、次いで「わからない」が 25.7%、『暗い』が 15.5%となっています。

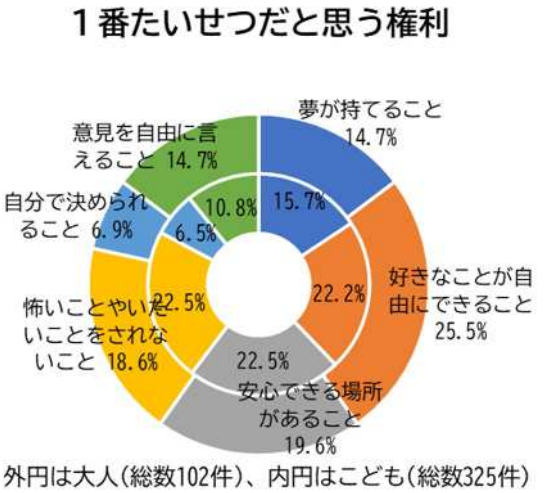


## (3)意見聴取パネル設置結果

児童館等において、こどもの権利について広く周知するとともに、こどもの権利のうち「1 番大切だと思う権利」と「守られていないと思う権利」についてこども・大人を対象にシールアンケートを実施しました。

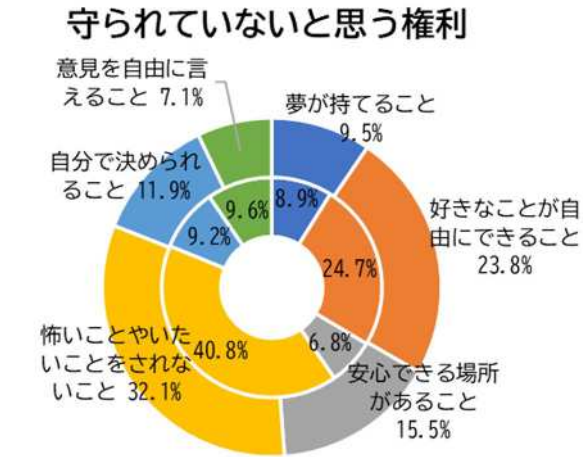
### ▼1 番たいせつだと思う権利

| | こども 図書館 | こども 児童館 | こども カラット | こども 小計 | 大人 図書館 | 大人 カラット | 大人 合計 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夢が持てること | 23 | 22 | 6 | 51 | 6 | 9 | 15 | 66 |
| 好きなことが自由にできること | 15 | 37 | 20 | 72 | 7 | 19 | 26 | 98 |
| 安心できる場所があること | 26 | 40 | 7 | 73 | 13 | 7 | 20 | 93 |
| 怖いことやいたいことをされないこと | 14 | 53 | 6 | 73 | 8 | 11 | 19 | 92 |
| 自分で決められること | 5 | 13 | 3 | 21 | 2 | 5 | 7 | 28 |
| 意見を自由に言えること | 5 | 28 | 2 | 35 | 11 | 4 | 15 | 50 |
| 計 | 88 | 193 | 44 | 325 | 47 | 55 | 102 | 427 |




### ▼守られていないと思う権利

| | こども 図書館 | こども 児童館 | こども カラット | こども 小計 | 大人 図書館 | 大人 カラット | 大人 合計 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夢が持てること | 7 | 15 | 4 | 26 | 5 | 3 | 8 | 34 |
| 好きなことが自由にできること | 10 | 40 | 22 | 72 | 4 | 16 | 20 | 92 |
| 安心できる場所があること | 11 | 5 | 4 | 20 | 9 | 4 | 13 | 33 |
| 怖いことやいたいことをされないこと | 53 | 40 | 26 | 119 | 16 | 11 | 27 | 146 |
| 自分で決められること | 9 | 16 | 2 | 27 | 5 | 5 | 10 | 37 |
| 意見を自由に言えること | 10 | 13 | 5 | 28 | 1 | 5 | 6 | 34 |
| 計 | 100 | 129 | 63 | 292 | 40 | 44 | 84 | 376 |



## (4)こども×大人ワークショップ開催結果

豊明市こども計画策定にあたり、大人だけで考えるのではなく、こども・若者の皆さんと一緒にこどもまんなか社会の実現に向けて＜こどもの権利＞について学び、考えるワークショップを開催しました。当日は、小学生5人、中学生6人、大人7人、大学生ボランティア5人の合計23人にお集まりいただき、「こどもの権利・こどもが大切にされるってどんなこと？」「こどもが大切にされるまち・住み続けたいと思えるまちってどんなまち？」の2つをテーマに意見を出し合っていただきました。



### 小学生グループの主な意見



**こどもの権利が大切にされていると思ったとき**

・家族が自分の話を聞いてくれるときに大切にされてると感じる
・地域の人が元気にあいさつしてくれるから嬉しい

**もやもやしたとき**

・自分の考えを否定されたとき
・公園で遊んでいて「うるさい」と言われたとき

**どんなまちに住み続けたい？**

・みんなと安心してすごせるまち
・行事やイベントなどの情報をわかるようにしてほしい
・自分の自由なことができる、楽しくなれるスペースがある

平和で楽しく安心してくらせるまち

### 中学生グループの主な意見



**こどもの権利が大切にされていると思ったとき**

・先生と１対１で話せる環境があること
・おまつりなどの行事がたくさん行われているところ

**もやもやしたとき**

・勉強を頑張っているのに、点数が悪いと怒られるとき
・中学生が遊べる場所が少ないこと

**どんなまちに住み続けたい？**

・料理人になりたいから、レストランがいっぱいあるまち
・住みやすく治安がいいまち
・自分の意見を気軽に話せるまち(児童館など)

安心安全第１楽しいまち

### 大人グループの主な意見



**こどもにとって大切な権利とは？**

・こどもがやりたいことを聞き、可能な限り挑戦させること
・ボランティアや年配の方など登下校の見守りを行っている

**こどものためにできていないこと**

・地域活動に参加する機会があまりなく、交流が少ない
・親の都合でこども同士が遊べない時がある

**こどもたちにとって住み続けたいまちとは？**

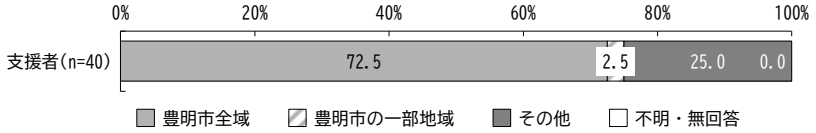
・治安が良く、安全な遊び場がたくさんあるまち
・こども時代の思い出がいいもので、自分もここでこどもを育てたいと思えるまち
・こどもと地域の人の距離感が近く、気軽にあいさつできる

安心して人と自由につながれる豊明市

## (5)支援者アンケート及びグループインタビュー結果

◆ 活動範囲（単数回答）

「豊明市全域」が 72.5%、「豊明市の一部地域」が 2.5%、
「その他」が 25.0%となっています。




| 「豊明市の一部地域」の内容 |
|---|
| 主に栄中学校学区 |

| 「その他」の内容 |
|---|
| どなたでも |
| 主に愛知県内だが範囲なし |
| 愛知地区、名古屋市、西春地区 |
| 受け入れ対象としては大府市、名古屋市、東郷町 |
| 豊明市、豊田市、瀬戸市 |
| 豊明市の一部と、他の市（碧南市、半田市、名古屋市、千葉県） |
| 豊明市及び近郊 |
| 豊明市全域、東郷町、みよし市、名古屋市緑区 |
| 保育所 |

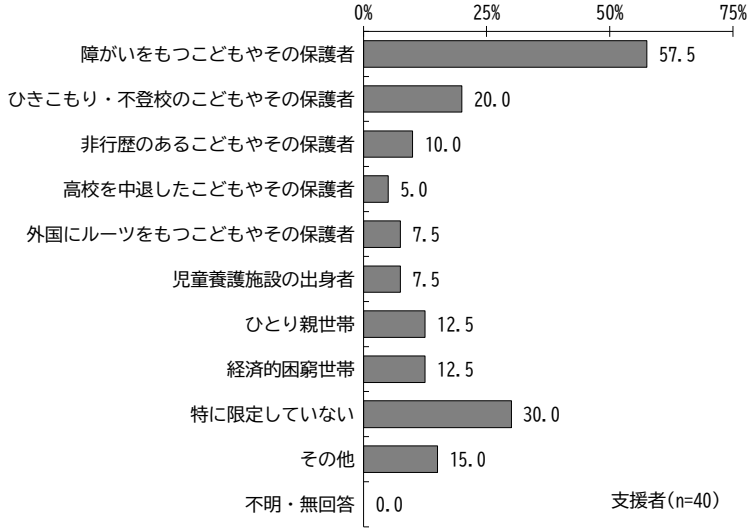
◆ 対象者となる年齢（複数回答）

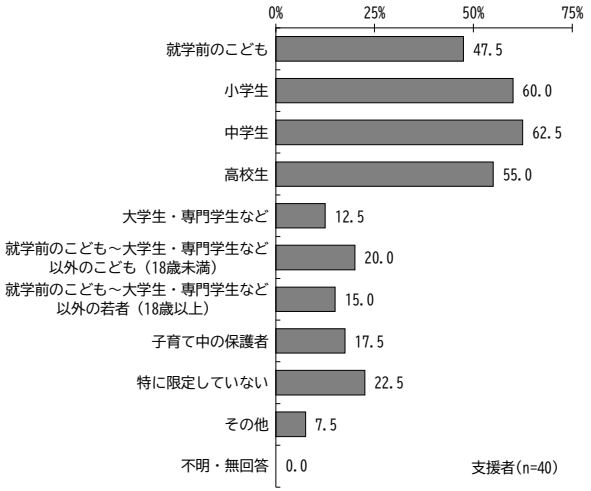
「中学生」が 62.5%と最も高く、次いで「小学生」が 60.0%、
「高校生」が 55.0%となっています。

| 「その他」の内容 |
|---|
| ０歳児から２歳児 |
| 基本的には義務教育終了後だが、場合によっては中学生でも可。 |
| 特に限定していないが、主に小学生。 |

◆ 活動の対象者（複数回答）

「障がいをもつこどもやその保護者」が 57.5%と最も高く、
次いで「特に限定していない」が 30.0%、
「ひきこもり・不登校のこどもやその保護者」が 20.0%と
なっています。

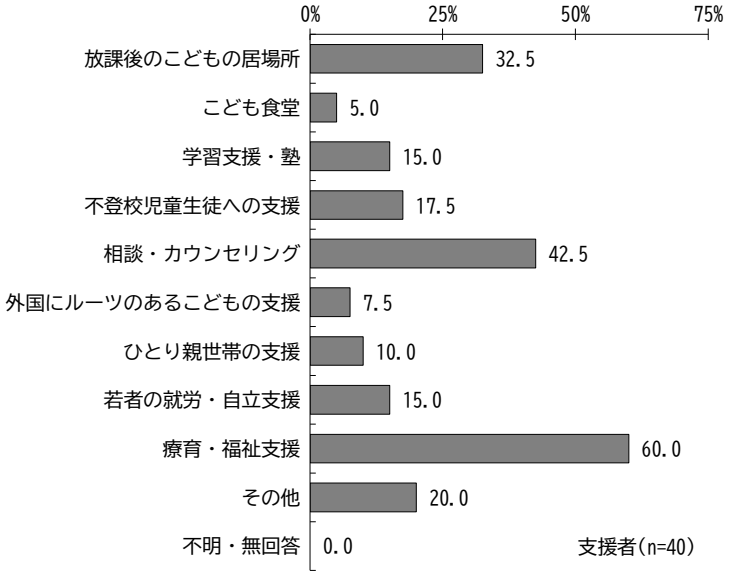


問 1. こども・若者やその家庭に対して、具体的にどのような支援を行っていますか。主な活動について次の選択肢のなかから選び、支援の内容について具体的に記入してください。（複数回答・自由記述）

主な活動としては、「療育・福祉支援」が 60.0%と最も高く、次いで「相談・カウンセリング」が 42.5%、「放課後のこどもの居場所」が 32.5%となっています。

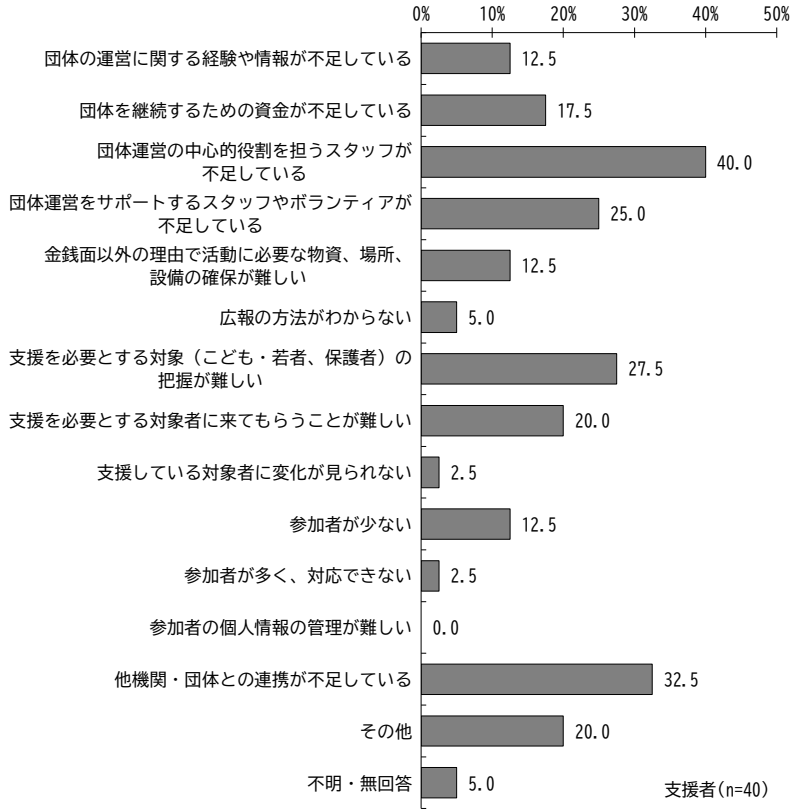
| 具体的な支援内容（抜粋） |
|---|
| ○活動を発信し、来館してきた子どもや親子に必要な支援をしている。 |
| ○運動療育を中心とした児童発達支援。保護者の子育て相談。 |
| ○医療機関の紹介、ひきこもりや自殺対策のネットワーク会議開催による支援ネットワークの強化等。 |
| ○学習支援、レクリエーション等による集団活動、計画支援とモニタリング、子どもの状況を相談員等への報告・共有・相談。 |




問 2. 貴機関・団体が活動を行う中で、現在抱えている課題はなんですか。（複数回答）

「団体運営の中心的役割を担うスタッフが不足している」が 40.0%と最も高く、次いで「他機関・団体との連携が不足している」が 32.5%、「支援を必要とする対象（こども・若者、保護者）の把握が難しい」が 27.5%となっており、課題は人材、連携、情報と多岐にわたっています。

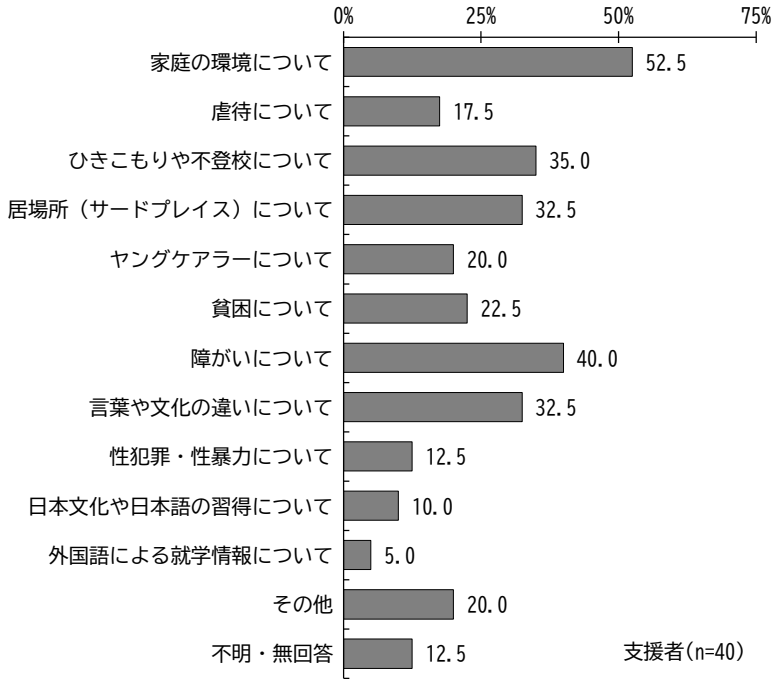
| 「その他」の内容 |
|---|
| ○職員の給与をもっと上げたいが、収入に限度があるため思うような昇給をしてやれていない。 |
| ○人権擁護委員のなり手不足。　　○利用者の多様化。 |
| ○事業所を開設してからの期間は短いですが、関係機関と連携しながら、地域の中で相談支援事業を運営できています。 |



問 4. 普段行っている活動内容以外に、こども・若者たちの様子で何か気になっていることや困っているように思うことはありますか。
（複数回答）

「家庭の環境について」が 52.5%と最も高く、次いで「障がいについて」が 40.0%、「ひきこもりや不登校について」が 35.0%となっています。

| 具体的な内容、事例、状況など |
|---|
| ○親御さんに障害、アルコール依存症、心身の不調などが認められる場合において。お子さまのことについての相談があったとしても、その後に連絡がスムーズにいかない等から、継続的なやり取りが難しい場合がある。 |
| ○ひきこもりや不登校となった場合、保護者と本人の距離が近くなりすぎる傾向になり、おやとこどもが離れることのできる時間や場所が必要、と聴くことが多い。 |
| ○障害への理解がまだまだ不充分であると考えます。それにより孤立しやすかったり、周囲との関係に悩む事があると思います。 |



◆グループインタビュー結果

| 実施日 | 参加者数 | 場所 |
|---|---|---|
| ８月１０日 | ７人 | 豊明市役所新館１階会議室４ |
| ８月１４日 | ２人 | 豊明市役所新館１階会議室５ |



**＜支援者が感じている課題（まとめ）＞**

1. 対象者把握・情報提供と支援への接続の困難さ

| 課題の概要 | 具体的な内容 |
|---|---|
| **情報格差と未接触者の多さ** | ・福祉サービスの情報が保護者に届いていないケースが存在。<br>・特に外国籍家庭や、親自身に障害・特性がある家庭では、情報アクセスや役所への相談ハードルが高い。<br>・「お節介」を敬遠する風潮により、地域の見守り機能が低下し、困難な家庭の早期発見が困難。 |
| **支援への抵抗感と介入の難しさ** | ・親が支援の必要性を理解せず拒否。<br>・「こどもにレッテルを貼られる」という抵抗感。<br>・保護者の価値観（例：外国籍家庭の育児観、自身の障害）と支援者の間にズレ。<br>・親の「今の生活のままでいい」という現状維持志向。 |
| **病院からの地域への移行支援の不足** | ・長期入院の経験があるこどもが退院後、地域（学校・家庭）へ戻る際の「つなぎ」の支援が手薄。<br>・医療的ケアが不要なこどもの退院支援は不十分で、学校への情報共有も不足。 |

2. 多様化する家庭とこどものニーズへの対応不足

| 課題の概要 | 具体的な内容 |
|---|---|
| **困難を抱える家庭の複合的課題** | ・親自身に障害・精神疾患があり、複数のこどもがいる、生活保護受給家庭などの複雑なケース。<br>・ひとり親家庭や外国籍家庭など、多様な背景を持つ家庭の孤立。<br>・家庭の支援力（親の障害、経済困窮、育児経験不足など）によって、こどもが受けられるサポートに格差が生じる。 |
| **重度障害児の受け皿不足** | ・重度の障害を持つこどもの受け入れ先となる放課後等デイサービスがない。<br>・専門性の高い支援員の人員不足。 |
| **ヤングケアラー・きょうだい児支援の不足** | ・障害のあるきょうだいがいることで、健常なきょうだい児の体験機会が制限される。<br>・公的な支援が当事者優先となり、きょうだい児へのサポートが後回しになりがち。 |
| **地域活動の衰退とこどもの機会喪失** | ・子ども会の縮小など、地域におけるこどもの居場所や体験の機会が減少。<br>・部活動の地域移行による格差の拡大（費用負担、指導者の確保）。 |

3. こどもの意見聴取と権利保障の難しさ

| 課題の概要 | 具体的な内容 |
|---|---|
| **意見形成と表明の困難さ** | ・こども自身が「自分の意見」を自覚・言語化することが困難。<br>・言葉での表現が難しい幼少期や重度障害児の意思の汲み取り。<br>・大人の「先回り」「過保護」により、こどもの自発性や自己決定の機会が奪われている。 |
| **こどもの本音を言える居場所の不足** | ・学校や家庭以外で、親でも教員でもない、信頼できる大人に本音を語れるサードプレイスが不足。<br>・公園など公共の場での「禁止」が多すぎることから、こどもの遊びが制限されている。 |
| **大人の意識と社会の慣例の課題** | ・大人の都合（予算、人付き合い、慣例）が優先され、こどものニーズが後回しになりがち。<br>・「今時のこども」は「大人が作り上げた社会の結果」という認識の欠如。 |

4. 連携・協働の強化

| 課題の概要 | 具体的な内容 |
|---|---|
| **既存の繋がり・連携の強化** | ・コロナ禍などで途切れてしまったボランティア団体や地域団体との連携。<br>・教育機関（学校）と福祉機関（相談支援事業所、児童相談所など）間の連携に高い壁。<br>・情報共有が不十分で、困難ケースの早期発見や一貫した支援が困難。 |
| **地域資源の活用不足** | ・既存の地域資源（ひまわりバス、公園など）がこどものニーズに合致していない。<br>・地元企業や団体との連携がまだ限定的。 |
| **行政の役割** | ・「こども計画」という枠組みを単なる策定で終わらせず、実効性のあるものとする必要性。<br>・行政組織内の縦割り、教育委員会との連携強化が不可欠。 |

## (6)支援が必要なこどもへのアンケート及びヒアリング結果（速報）

| 対象 | 項目 | 回答数 |
|---|---|---|
| 特別支援学校に通うこども及び保護者 | アンケート | 6件 |
| 不登校支援事業に参加しているこども | アンケート | 6件 |
| 外国籍のこども | ヒアリング<br>アンケート | 21人<br>4件 |

## 2. 結果を踏まえたこども計画への反映と今後の方向性

意見聴取結果を踏まえて、今後必要となるこども・若者施策を庁内横断的に検討するため、各課から 1 名ずつの市若手職員（おおむね 35 歳以下）で構成する職員ワーキンググループのメンバーで全３回のワークショップを実施しました。

### (1) ワークショップの概要

| 開催日時 | 内容 | 参加者数 |
|---|---|---|
| ８月２４日　13：30～15：30 | ・概要説明、各種アンケート結果の共有<br>・課題の抽出、ありたい姿の設定<br>・施策体系の検討 | 19 人 |
| ９月　９日　14：00～16：30 | ・ありたい姿から課題を掘り下げる<br>・解決策を考える | 19 人 |
| ９月１１日　13：30～15：30 | ・施策提案シートの作成 | 15 人 |



### (2) ワークショップで出た主な視点

| 課題 | 施策の方向性 |
|---|---|
| ・豊明市から発信される情報を「どれも見ていない」と回答した人が 28.3%<br>・広報や HP は見に行かなければ情報が入らない<br>・こどもはインターネットにアクセスできる子とできない子がいる | **情報を「発信する」から「届く」へ**<br>**職員自ら市民の声・ニーズをキャッチする** |
| ・「ひとりぼっちだと感じる」は中学生よりも小学生のほうがやや高い<br>・安心できる場所はどこかに対し、「そのような場所はない」が 2.6%<br>・移動手段がなくて居場所に行けない<br>・大人になっても住み続けたいと思うこども割合が低い | **既存の「場所」を気軽につながれる「居場所」へ**<br>**地元のイベントなどこどもが体験できる機会を創出し、愛着を育む** |
| ・専門家よりも生成 AI へ相談したいという割合が高い<br>・だれに、どこに相談したらよいか分からない<br>・「行政」そのものに心理的（気軽にしにくい・恥ずかしい）ハードルが高い | **相談に来てもらうだけではなく、相談につながりやすい行政へ** |

資料２

# 豊明市こども計画　骨子案

## 1　計画策定の趣旨

国では、2023年４月１日にこども家庭庁を設置し、「こども基本法」が施行されました。これに基づき、従来の「子供・若者育成支援推進大綱」、「子供の貧困対策に関する大綱」、「少子化社会対策大綱」が「こども大綱」に一元化されました。また、市町村は同大綱を勘案し、自治体におけるこども施策の基本となる計画（市町村こども計画）の策定に努めるものとされています。

豊明市（以下、「本市」と言う。）ではこれまで、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、市のこども・子育て家庭への様々な施策を推進してきました。

今後は、本市のすべてのこどもや若者が幸せに暮らせるように、常にこどもや若者の今とこれからにとって最もよいことは何かを考え、社会全体で支える「こどもまんなか社会」の実現をめざし、「豊明市こども計画」（以下、「本計画」と言う。）を策定します。

## 2　計画の位置づけ

### （１）根拠法

本計画は、「こども基本法」第10条の２に定める市町村こども計画として位置づけます。

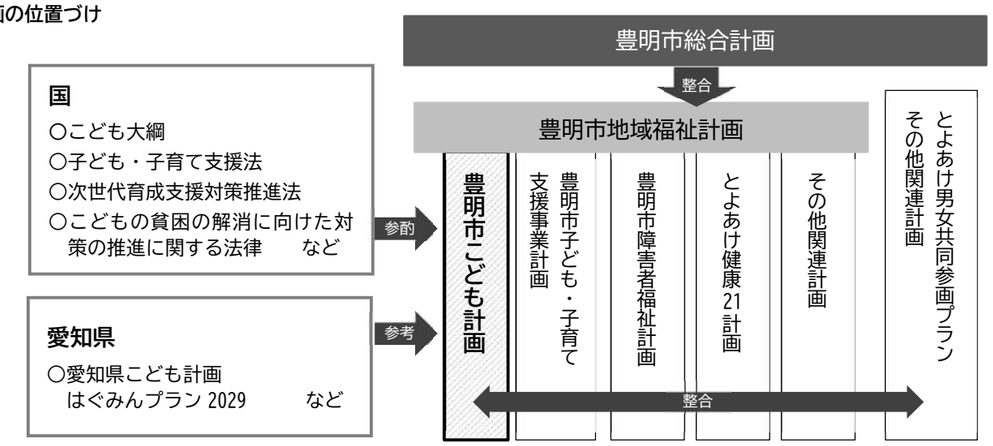
### （２）市の関連計画などとの関係

子ども・子育て支援事業計画は、「子ども・子育て支援法」第61条に基づき、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を 整備することを目的に策定しています。子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援等を総合的に推進していくことをめざしています。（次世代育成支援対策推進法・こどもの貧困対策推進に関する法律も内包）

子ども・若者・子育て当事者を施策の真ん中に据える「こどもまんなか」の考えを踏まえ、本市においても若者を含めたこども施策及び少子化対策の取り組みについて着実に取り組むため、本計画と一体的に推進していきます。

また、本市の最上位計画である「豊明市総合計画」やその他関連計画との整合性を図りながら策定します。

■計画の位置づけ




## 3　計画の期間

2027年度から2034年度の８年間とします。

■子ども・子育て支援事業計画及びこども計画の計画期間

| | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 | 2034 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 子ども･子育て支援事業計画 | 第３期 | | | | | 第４期 | | | | |
| こども計画 | | | 第１期 | | | | | | | |

## 4　計画の対象者

本計画の対象となるこども・若者の範囲は、０歳からおおむね30歳未満としますが、社会生活を営む上で困難を抱える方、大学等において社会の各分野を支え、発展させていく資質・能力を養う努力を続けている40歳未満の方も多く存在することから、これらの方も対象とします。

## 5　計画の基本的な考え方

### （１）基本理念

第３期豊明市子ども・子育て支援事業計画を踏襲し、基本理念を次のとおり掲げます。

■基本理念

**しあわせなこどもが安全安心に育つまち　とよあけ**

### （２）基本目標

本計画の基本目標は以下のとおりです。第３期豊明市子ども・子育て支援事業計画を踏襲しつつ、対象をこども・若者へと拡大し、「こどもまんなか社会」の実現に向けた姿勢をより明確に設定します。

**基本目標１　こどもの権利が尊重され、こども・若者が自分らしく安心して育つ**
**基本目標２　安心して妊娠・出産・子育てができる**
**基本目標３　こども・若者・子育て家庭が安全安心に地域とつながり、支えあう**

### （３）横断的な視点

本計画に掲げる各施策を展開するにあたり、各種調査結果及び若手職員ワーキンググループでの議論を通じて浮き彫りとなった課題に基づき、全分野に共通して取り組むべき３つの横断的な視点を設定します。制度や分野の垣根を越え、これらの視点を常に意識しながら「こどもまんなか」の施策を推進していきます。

**①必要な人に必要な情報が届く仕組みづくり**

支援やサービス等が存在していても、それを必要としているこども・若者・子育て世代に情報が届いていないという課題があります。ＳＮＳを活用したプッシュ型・双方向型のアプローチを強化するとともに、職員が多様な機会を通じて住民の声やニーズを主体的に把握する体制を構築することで、わかりやすい情報発信を全庁的に推進します。

**②豊明市への愛着の醸成**

こども・若者が「豊明市で育ってよかった」「これからも住み続けたい」と思える地元への愛着を育むことは、将来的な定住や地域の担い手育成に直結します。地域行事への参加、多様な世代との交流、地域の魅力を知る体験機会を積極的に創出し、まち全体でこどもの育ちを支える温かい土壌をつくることで、豊明市への誇りと愛着を醸成します。

**③重層的支援体制の推進による包括的サポートの推進**

こども・若者、子育て家庭が抱える課題は、複合的な困窮やヤングケアラーなど、一つの制度や部署だけでは解決できないケースが増加しています。全世代・全属性を対象とした「重層的支援体制整備事業」と密接に連携し、分野を問わない相談支援や、関係機関とのネットワーク化を強化します。制度の狭間にいるこどもや家庭を見逃さず、包括的かつ伴走的に支援する体制を構築します。

## （4）施策体系

※赤字は第３期子ども・子育て支援事業計画からの変更点

| 基本目標 | | 施策 | | 取組 | 対応する課題 | 変更点の概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | こどもの権利が尊重され、こども・若者が自分らしく安心して育つ | 1 | こどもまんなか社会実現に向けた環境整備 | ① こどもの権利の意識啓発 | | 「子どもの権利の尊重」から名称を変更。各取組の対象に若者を追加し、参画機会や地域での見守りを強化。 |
| | | | | ② こども・若者の参画機会の充実 | ・本音を言える場所や人、意見を聴く場・機会が不足している | |
| | | | | ③ こども・若者を見守り、支える地域づくり | ・地域活動やまちづくりに参画する機会が不足している | |
| | | 2 | より良い育ちのための教育や活動の充実 | ① こども・若者の居場所の充実 | ・安心できる、気軽に立ち寄れる居場所が不足している | 居場所の対象に若者を追加し、遊び・体験機会や多様な学習機会の提供を新たに強調。 |
| | | | | ② 遊びや体験機会の充実 | ・好きなこと、やりたいことができるところのニーズが高い | |
| | | | | ③ 多様な学習機会の提供 | ・多文化共生の推進、LGBT 等の視点を追加 | |
| | | | | ④ いじめ・不登校などへの支援の充実 | | |
| | | 3 | こども・若者の希望を叶えるための支援 | ① ライフプランニングやキャリア形成支援の充実 | ・お金のこと、将来のことに対する不安を抱えている若者が多い | 施策を新設。「ライフプランニングやキャリア形成」「就学・就労」「結婚を希望する人」への支援を新たに追加。 |
| | | | | ② 若者の就学・就労に対する支援 | ・豊明市に必要な取り組みとして、お金の心配をすることなく学べる支援へのニーズが高い | |
| | | | | ③ 結婚を希望する人への支援 | ・結婚希望者は、結婚支援サービスへのニーズがある | |
| | | 4 | 多様なこども・若者への支援の充実 | ① 障がいのあるこども・若者への支援の充実 | ・福祉サービスが必要な対象者に届いていない、支援への抵抗感がある | 各対象に若者を追加し、若者特有の悩みに対する相談窓口を独立した取組として整理。 |
| | | | | ② 外国にルーツを持つこども・若者への支援の充実 | ・外国籍家庭への支援が不足している、行政へのハードルが高い | |
| | | | | ③ こどもの貧困対策 | | |
| | | | | ④ ヤングケアラーへの支援の充実 | | |
| | | | | ⑤ 児童虐待防止対策等の充実 | ・子ども性暴力防止法に基づく措置等を追加 | |
| | | | | ⑥ 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談体制の充実 | ・漠然とした悩みでも気軽に相談できる場所や匿名で相談できるツールのニーズが高い<br>・支援者同士・他機関・団体との連携が不足している | |
| 2 | 安心して妊娠・出産・子育てができる | 1 | 切れ目のない支援の充実 | ① 妊娠・出産・子育てを支援する体制の充実 | | 「母子」だけでなく「こども・若者」の健康づくりを新たに追加。 |
| | | | | ② こどもと母親の健康づくりの推進 | | |
| | | | | ③ こども・若者の健康づくりの推進 | ・将来に対して、自分の健康のことに不安を抱えている若者が多い | |
| | | | | ④ 子育てに関する相談・訪問の充実 | | |
| | | | | ⑤ 子育てに関する講座等の充実 | | |
| | | 2 | 幼児教育・保育の充実 | ① 多様な教育・保育の提供 | | |
| | | | | ② 教育・保育サービスの充実 | ・小学校に上がるタイミングで親も子も不安が増える | |
| | | 3 | 育児における経済的支援の充実 | ① 各種医療費・治療費の助成 | | |
| | | | | ② 各種手当の支給 | | |
| | | | | ③ 妊娠期からの支援 | | |
| | | 4 | ひとり親家庭への支援の充実 | ① ひとり親家庭相談の充実 | | |
| | | | | ② ひとり親家庭の自立支援の充実 | | |
| 3 | こども・若者・子育て家庭が安全安心に地域とつながり、支えあう | 1 | 共働き・共育ての推進 | ① 父親の子育ての促進と意識啓発 | | |
| | | | | ② 子育てと仕事の両立のための意識啓発 | | |
| | | 2 | 地域における子育て支援の充実 | ① 地域協働による子育て支援 | | |
| | | | | ② 子育て中の保護者同士の交流 | | |
| | | | | ③ 市民活動の支援 | | |
| | | 3 | 安全安心なまちの整備 | ① 防犯・交通安全対策等の推進 | ・安全安心なまちに住みたいと思うこども・若者が多い | 「移動手段の充実」と若者を対象とする「非行防止と自立支援の推進」を新たに追加し、分野ごとに整理。 |
| | | | | ② 移動手段の充実 | ・居場所やイベント等に行く際の移動手段が不足している | |
| | | | | ③ 非行防止と自立支援の推進 | ・若者に対する自立支援サービスが不足している | |

資料 3

# 子ども・子育て支援事業計画の変更について

## 1. 概要

第３期 豊明市子ども・子育て支援事業計画における、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の量の見込みと確保の内容について、事業の利用者数が当初の見込人数を大きく上回る状況で推移しており、令和７年度及び令和８年度の利用者数実績を踏まえて計画の変更を行い、今後、民間児童クラブの拡充等を実施し、待機児童を生じさせず、利用者が安心して利用できる環境を整備するため計画内容の変更を行う。

## ２．変更内容（別紙１参照）

P71

・（２）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）-【確保方策】の文言を一部修正

・（２）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】-◆量の見込みと確保量【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】の表の内容を2025年度及び2026年度は実績値で記載、2027年度から2029年度までは予測値で内容を修正。

## ３.愛知県との協議（別紙２参照）

今回の変更内容を愛知県と協議した結果、支障は無い旨回答をいただいております。

別紙１

# （豊明市）子ども・子育て支援事業計画　新旧対照表

## 改正案

p 71

（２）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【事業概要】

昼間保護者が就労等で家庭にいない小学生に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

【確保方策】

入会希望者が増えている栄児童クラブと三崎児童クラブの定員 2025 年度から増やします。さらに、今後も共働き世帯の増加によりニーズが拡大することを見込み、2027 年度からは栄児童クラブの定員を、2029 年度からは吉池児童クラブの定員を増やすことで、量の確保に努めます。なお、2027 年度から民間放課後児童クラブを拡充し、児童クラブ利用者を分散し、適正規模での運営に努めます。また、ニーズ調査の結果等を踏まえ、2025 年度より開所時間の拡大、長期休暇中の昼食の斡旋、おやつタイムの導入等、事業を拡充し、質の確保にも努めます。

その他にも、市内の民間放課後児童クラブの運営費に対して継続的に補助するなど、活動を支援することで、放課後の子どもの居場所を確保します。

◆量の見込みと確保量【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】　（人）

| | | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 量の見込み | 1年生 | 279 | 300 | 291 | 285 | 285 |
| | 2年生 | 289 | 249 | 241 | 238 | 238 |
| | 3年生 | 227 | 232 | 234 | 233 | 233 |
| | 4年生 | 133 | 166 | 170 | 175 | 175 |
| | 5年生 | 58 | 71 | 74 | 76 | 76 |
| | 6年生 | 18 | 17 | 25 | 28 | 28 |

## 現行

p 71

（２）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【事業概要】

昼間保護者が就労等で家庭にいない小学生に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

【確保方策】

入会希望者が増えている栄児童クラブと三崎児童クラブの定員 2025 年度から増やします。さらに、今後も共働き世帯の増加によりニーズが拡大することを見込み、2027 年度からは栄児童クラブの定員を、2029 年度からは吉池児童クラブの定員を増やすことで、量の確保に努めます。また、ニーズ調査の結果等を踏まえ、2025 年度より開所時間の拡大、長期休暇中の昼食の斡旋、おやつタイムの導入等、事業を拡充し、質の確保にも努めます。

その他にも、市内の民間学童保育所の運営費に対して継続的に補助するなど、活動を支援することで、放課後の子どもの居場所を確保します。

◆量の見込みと確保量【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】　（人）

| | | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 量の見込み | 1年生 | 292 | 300 | 300 | 303 | 306 |
| | 2年生 | 266 | 273 | 274 | 277 | 280 |
| | 3年生 | 206 | 211 | 211 | 214 | 215 |
| | 4年生 | 102 | 104 | 105 | 108 | 109 |
| | 5年生 | 14 | 14 | 15 | 17 | 17 |
| | 6年生 | 5 | 5 | 6 | 5 | 5 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ①合計 | 1004 | 1035 | 1035 | 1035 | 1035 |
| ②確保量 | | 919 | 919 | 994 | 1034 | 1044 |
| ③充足（②-①） | | -85 | -116 | -41 | -1 | 11 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ①合計 | 885 | 907 | 911 | 925 | 933 |
| ②確保量 | | 919 | 919 | 939 | 939 | 946 |
| ③充足（②-①） | | 34 | 12 | 28 | 14 | 16 |

別紙２

８子支第１５３４号
令和８年９月２８日

豊 明 市 長　殿

愛　知　県　知　事

豊明市子ども・子育て支援事業計画の変更について（回答）

令和８年９月１７日付け豊教第８２３号で協議のありました豊明市子ども・子育て支援事業計画の変更については、支障はありません。

担　　当　福祉局子育て支援課
子ども政策グループ（富永）
電　　話　052-954-6106（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）
電子ﾒｰﾙ　kosodate@pref.aichi.lg.jp